

部品の交換・購入について つづき

部品名(「P.1 各部のなまえ」参照)	部品番号
キャップパッキン	BB393016M-00
弁パッキン	BB412006M-00
せんパッキン	BS152010M-00
茶葉ストッパーセット (茶葉ストッパーハンドル・ 茶葉ストッパー・茶葉ストッパーパッキン)	BS152810L-00
茶葉ストッパーパッキン	BS152008M-00
ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01

△△表示は部品色柄記号
です。お求めの際は製品の
色柄までご指定願います。
(底面シールに表示)

<表示例>
SM-JT34YS-△PX△←色柄

- キャップパッキン・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパー・茶葉ストッパーパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ガラガラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などで困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120-345135
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06)6356-2451(有料)
 - FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143(有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」
をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

SM-JT / A



家庭用

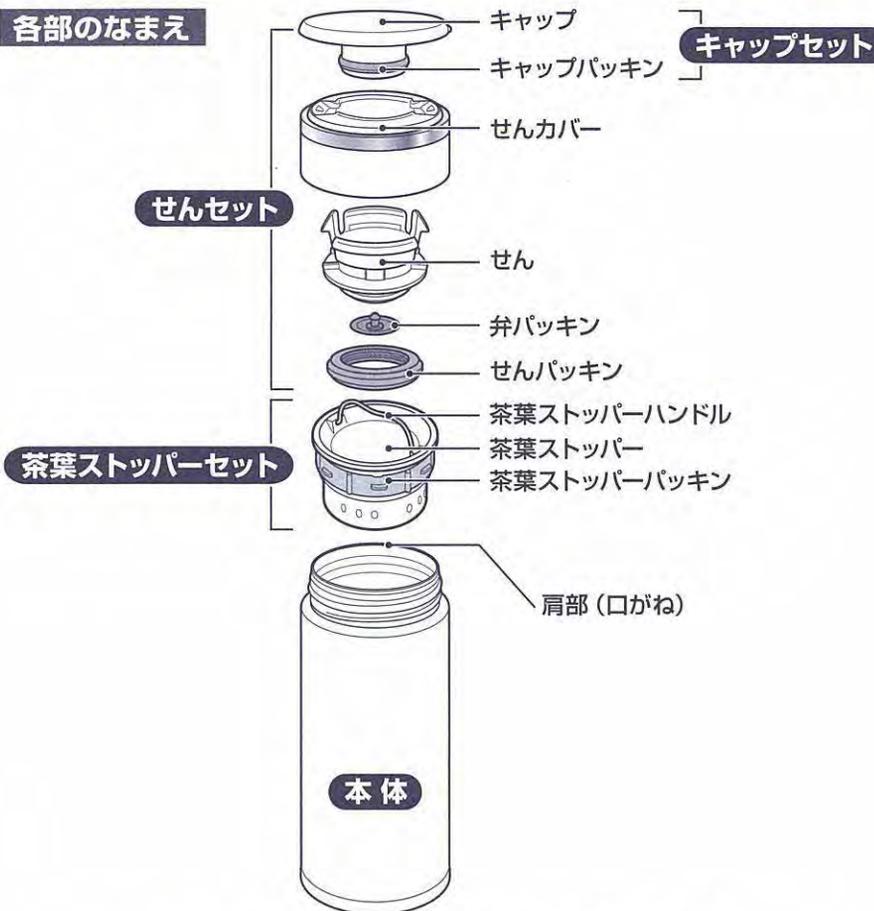
取扱説明書

ステンレスマグ
SM-JT 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の 変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために次のことは必ずお守りください。

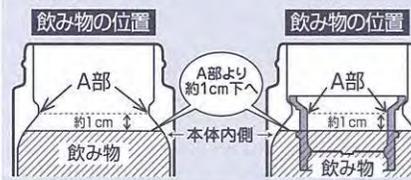
乳幼児には使用させない。また、乳幼児の手の届くところには置かない
やけどやけがなど危険です。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎてせんセットを閉めると、飲み物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。

・茶葉ストッパーセットを使用しない時
・茶葉ストッパーセットを使用する時



自動車走行中は飲まない

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

自動車専用の缶ホルダーで使用する場合は以下のことをお守りください。

- ① 飲み物を飲むとき以外は、せんセットを確実に閉める
本体が倒れたり、傾いたときに飲み物がこぼれ、やけどやけがの恐れがあります。
 - ② 本体が缶ホルダーに安定しておさまることを確認してから使用する
不安定な状態や確実におさまっていない状態で使用すると本体が倒れるなどやけど・けが・事故の原因になります。
 - ③ 缶ホルダーはあらかじめ強度を確認してから使用する
強度が十分でない缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどをしたり車内や衣服を汚す原因になります。
 - ④ 市販の缶ホルダーは据え置き型を使用する
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は缶ホルダーがはずれる場合がありますので使用しないでください。
- 一部車種や市販の缶ホルダーの種類によっては入らないことがあります。

熱い飲み物を入れた場合

- 本体を振らない
やけどやけがなど危険です。
- 飲む際にやけどの恐れがあるので注意する
断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。
- せんセットのキャップはつけたまま使用する
せんセット内側が熱くなっており、やけどやけがなど危険です。
- 茶葉ストッパーセットを本体に取りつければメッシュ部を押さない
指が湯に触れて、やけどをする恐れがあります。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

せんセットは確実に閉めて使用する

漏れてやけどなどの恐れがあります。

電子レンジでの加熱はしない

火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

飲み物はその日のうちに飲みきる

腐敗の原因になります。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、せんセットをはずすときに飛んだり、飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う

さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場合は、次のことを守ること

- 外出時など十分にお手入れができない場合でも、使用したあとはすぐに本体内側・本体外側(肩部)・せんセット・茶葉ストッパーセットをよく水洗いしてください。
使用後放置しておくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。
- 本体内側のフッ素樹脂コーティングを傷つけないように、柔らかいスポンジなどでお手入れしてください。
傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。

次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
- みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
- 果肉
詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・故障の原因になります。

キャップ・せん・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパーパッキンは必ずつけた状態で使用する

漏れてやけどなどの恐れがあります。また、汚れの原因になります。

改造や分解修理はしない

故障や事故の原因になります。

本体外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。



お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。
- 煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。
- 丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

ご注意とお願い

熱いやかんを飲み口や肩部(口がね)に触れさせない

転倒してやけどなどの危険があります。また傷や変形の原因になります。



本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

使用後は必ずせん・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパー・茶葉ストッパーパッキンをきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

パッキン部に茶葉などをはさんだ状態で、せんセットを閉めると漏れることがあり危険です。

せんセットやキャップを持って運ばない
落とすと危険です。

洗浄したせんセットは、分解した状態で、水が残らないよう数回振り、ふき取る
(P.7,8「部品の分解方法」参照)
キャップ・せんカバー・せんの中に水が残っていることがあり、残った水が漏れてくる場合があります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

茶葉ストッパーセットを本体に取りつけた状態で茶葉ストッパーハンドルを持って運ばない
茶葉ストッパーセットがはずれ、本体が落ちると危険です。

茶葉ストッパーセットを取り出す際は、茶葉ストッパーハンドルが熱くなっていることがあるので注意してください。
やけどをする危険があります。

ティーバッグを入れたままでせんセットを取りつけない
ティーバッグが膨らみ、飲み物が漏れたり、飛び散りの原因になります。

使い方

●ご使用前にせんセット・茶葉ストッパーセット・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

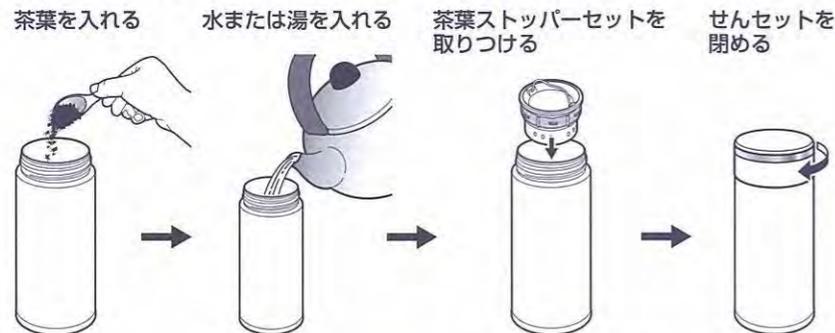
1 本体からせんセット・茶葉ストッパーセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。

●キャップだけははずさずに、せんセットをまずははずし、次に茶葉ストッパーハンドルを持って、茶葉ストッパーセットごとはずしてください。



2 本体に茶葉を入れ、水または湯を入れたあと茶葉ストッパーセットを取りつけて、せんセットを閉める

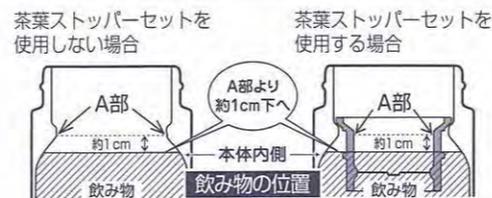


※茶葉ストッパーハンドルを倒してください。

- 茶葉ストッパーには茶葉を入れないでください。
- キャップ・キャップパッキン・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパーパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。P. 8、9「**部品の組立方法**」参照)
- せんセットのキャップは、必ずつけた状態でご使用ください。
- せんセットは、本体を立てた状態で確実に閉めてください。
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合はP. 11「**Q&A**」参照
- 茶葉や水または湯を入れすぎた場合は、少量の水または湯や茶葉を捨ててから、元どおりせんセットを閉めてください。P. 2、6「**飲み物の位置**」参照
- 湯を入れる時に湯が飛び散ることがあるので、やけどにご注意ください。
- お好みによって、茶葉の量を調節してください。
- 茶葉ストッパーセットを本体に取りつけるときはメッシュ部を押さないでください。指が湯に触れてやけどをする恐れがあります。また、湯気によるやけどにご注意ください。

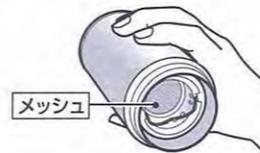
使い方 つづき

point あらかじめ本体内側に熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。



3 せんセットをあけて、茶葉ストッパーセットを取りつけた状態のまま飲み物を飲む

- 茶葉ストッパーセットのメッシュよりも細かい茶葉が飲み物に混じることがあります。
- 飲み物を飲むときは、本体を勢いよく傾けずにゆっくり飲んでください。(こぼれてやけどなど危険です。また衣服を汚す原因になります。)
- 茶葉ストッパーセットを取りつけたまま飲むときは、茶葉ストッパーセットを確実に本体に取りつけた状態にしてください。
- 茶葉ストッパーハンドルを下にして飲んでください。茶葉ストッパーハンドルが飲んでる時に倒れて唇にあたり、やけどをする恐れがあります。
- 茶葉ストッパーセットを本体から取り出すときは、茶葉ストッパーハンドルが熱くなっている場合がありますので、やけどにご注意してください。



4 飲み終わったら、せんセットを閉める

- せんセットを閉めるときは、茶葉ストッパーハンドルを倒してください。
- 茶葉ストッパーセットを本体に取りつけた状態で茶葉ストッパーハンドルを持って本体を移動させないでください。本体と茶葉ストッパーセットがはずれて落下ややけどの恐れがあります。
- 飲んだあとは確実にせんセットを閉めてください。



●バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために、本体を縦に置いてください。



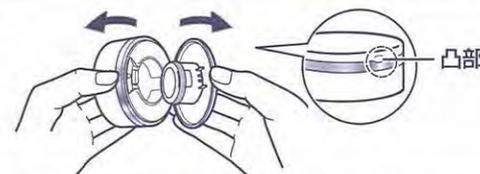
部品の分解方法

●組立方法はP. 8、9参照

せんセット

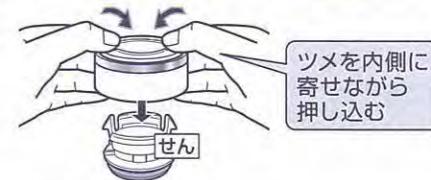
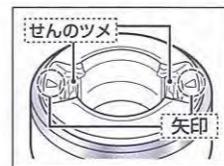
1 キャップを取りはずす

キャップの凸部に指をかけ矢印方向へ取りはずします。



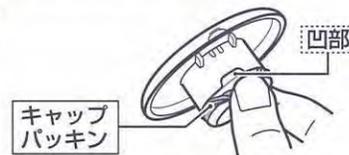
2 せんをはずす

せんのツメ(2か所)を矢印(▷ および ◁)の向きに指で押さえ、はずします。



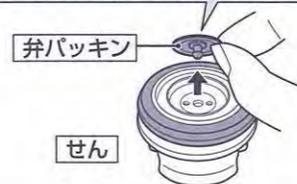
3 キャップパッキンを取りはずす

凹部に指を当て、キャップパッキンをずらしながら取りはずします。



4 弁パッキンを取りはずす

弁パッキンを取りはずす時は、つめの先などで破らないようご注意ください。



5 せんパッキンを取りはずす



部品の分解方法 つづき

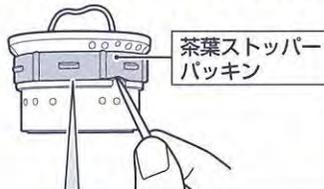
茶葉ストッパーセット

1 茶葉ストッパーセットを本体からはずす

茶葉ストッパーセットをはずす時は、本体を持ってしっかりと支えてください。



2 茶葉ストッパーパッキンをつまようじなどを使ってとりはずす



茶葉ストッパーパッキンを取りはずす時は、傷つけないようにご注意ください。

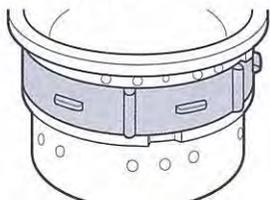
部品の組立方法

●分解方法はP. 7、8参照

●キャップ・キャップパッキン・せんカバー・せん・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパー・茶葉ストッパーパッキンは、正しく取りつけてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

茶葉ストッパーセット

1 茶葉ストッパーパッキンを凸部が外側になるように取りつける



2 茶葉ストッパーセットを本体に押し取りつける

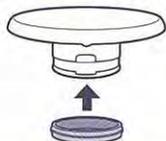


※取りつけるときはやけどにご注意ください。

せんセット

1 キャップパッキンを取りつける

キャップパッキンの凸部が外側になるように取りつける



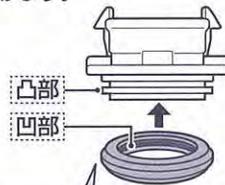
キャップパッキンを正しく取りつけないとキャップが飛びだすことがあり、危険です。

部品の組立方法 つづき

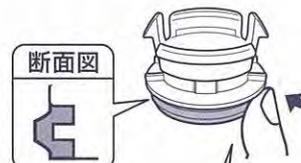
せんセット
つづき

2 せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。



せんパッキンの上下の方向性はありません。どちらが上側でも取りつけられます。



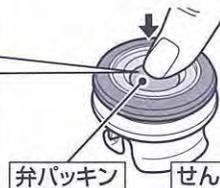
せんパッキンの外側から中心へ向かってまんべんなく指で押さえます。

3 弁パッキンを取りつける

図のように弁パッキンの凸部をせん中央の穴に奥まで確実に押し込んで取りつけます。



断面図(取りつけ後)



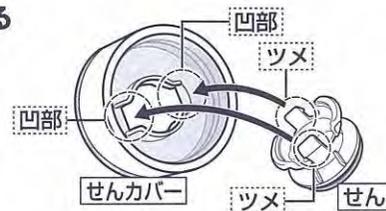
正しく取りつけないと飲み物が漏れる原因になります。

★弁パッキンの裏側と取りつけ部に異物や汚れが残っていると、飲み物が漏れる原因になります。

※実際には穴は3つあります。中央の穴に取りつけてください。

4 せんをせんカバーに取りつける

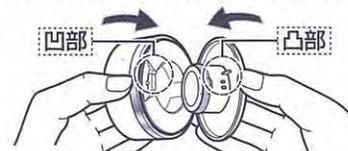
せんのツメ(2か所)をせんカバーの凹部に合わせて押し込み、取りつけます。



●このとき、両方のツメが確実にかかっていることを確認してください。

5 キャップを取りつける

キャップ裏側の凸部をせんカバーの凹部に合わせて、確実に取りつけてください。



お手入れ ●

においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7、8「部品の分解方法」参照)

本体外側 せんセット 茶葉ストッパー セット

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。
 - ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。
- せんセット・茶葉ストッパーセットは、キャップパッキン・弁パッキン・せんパッキン・茶葉ストッパーパッキンをはずしてから洗ってください。
 - 異物や汚れが残っていると、飲み物が漏れる原因になります。
 - せんセットは分解した状態で洗浄、乾燥させてください。
 - 洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
 - 茶葉を入れて使用するにしたがって、茶シブが付着し変色することがあります。変色は洗浄しても完全には取れませんが、使用上差し支えありません。

本体内側

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う。
- ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。



- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗したあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
- 水滴のあとやさびが発生する原因になります。
- キャップ・せんカバー・せんの間にはたまっている水は、必ずふき取るようにしてください。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(P.10「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 本体内側・せん・茶葉ストッパーセット・パッキン類にこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤 **ピカボトル**」をご利用ください。(別売品)(P.12参照)
- ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

Q&A

症状	原因	処置
せんセットから 飲み物が漏れる	弁パッキン・せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか？	弁パッキン・せんパッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。(P.8～9「部品の組立方法」参照)
	弁パッキン・せんパッキンが汚れていませんか？	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。(P.10「お手入れ」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか？	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2「飲み物の位置」参照)
	キャップ・せんカバー・せんの間には洗浄時の水がたまっていますか？	キャップ・せんカバー・せんの間にはたまっている水をふき取ってください。
飲み物(本体内側・せんセット・茶葉ストッパーセット)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・せんセット・茶葉ストッパーセット・パッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか？	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.10「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか？	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)をするとより効果的です。(P.6「飲み物の位置」参照)
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする		保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入はP.12「お客様ご相談窓口」参照)

部品名(「P.1 各部のなまえ」参照)	部品番号
せんセット	BS152806L-△△
キャップセット(キャップ・キャップパッキン)	BB393809L-△△